

学生担当者報 Vol.362

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/松村孝吉 編集責任者/福江弘一
[TEL]0743-63-1511 (内線 5817) (直通)0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
[E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教180年
平成29年3月25日発行

お知らせ

四月例会

- ・期日 立教180年4月25日
- ・時間 15時30分受付、16時開始
- ・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

- 【直属】
- ・名東 4月16日12時〜 大教会
 - ・西 4月16日11時30分〜 大教会
 - ・小牧 4月23日12時30分〜 大教会
 - ・豊繁 4月23日12時〜 分教会
 - ・櫻井 4月24日12時〜 大教会
 - ・中背 4月24日11時〜 大教会

報告

二月例会

去る2月25日、教庁4階講堂に於いて二月例会を開催。出席は44教区、140直属。

各地の動き

- ・大分 2月2日 教務支庁 50名
田邊委員出向
- ・香川 2月11日 教務支庁 34名
豊田委員出向

人事

- ・和歌山 2月27日 教務支庁 23名
泉委員出向
- ・兵庫 2月28日 教務支庁 60名
深谷委員出向
- ・松阪 2月20日 大教会 110名
辻委員出向
- ・大鳥 2月22日 大教会 80名
深谷委員出向
- ・甲府 2月22日 大教会 80名
葛西委員出向
- ・双名島 2月22日 大教会 80名
秋岡副委員長出向
- ・越乃國 2月23日 大教会 100名
葛西委員出向
- ・生野 2月23日 大教会 150名
辻委員出向
- ・岡 2月23日 大教会 250名
福江副委員長出向
- ・鐸姫 2月23日 分教会 45名
松山委員出向
- ・中和 2月24日 大教会 200名
柏原委員出向
- ・多田満男(山陽・朝海)

業務記録

- 《立教180年2月16日〜立教180年3月15日》
- 2月16日 まなびばチーム会議
- 18日 事務局連絡会
- 21日 春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 22日 『Happyst』納品
- 23日 『Happyst』梱包
- 24日 まなびば研究室会議
担当者活動部部会
- 25日 学修部部会
委員会
例会
まなびば部員・本部スタッフ
直前研修会
- 26日 HARP勉強会
出版部部会
まなびば部員・本部スタッフ
研修会(〜27日)
- 3月1日 学修大学の部スタッフ直前研修会(〜2日)
- 3日 学修大学の部(〜9日)
- 9日 学修高校卒業生コース
スタッフ直前研修会
- 10日 学修高校卒業生コース(〜12日)
- 13日 委員会
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 14日 学修高校の部研究室会議

声掛け、運営、世話取りまで「誠の心」で



今年度も「高
校生の集い
まなびば」が
開催され、教

区やブロックにおいて三百五十六名の高校生が参加した。同じ地域に住む仲間との出会いや、プログラムを通して御教えにふれ、成人する姿が見られたことと思う。

ある教区での出来事だが、ある会長さんから「まなびばに参加させたい子がいるのですが、全期間参加することができません。それでも参加出来ますか？」との問い合わせがあった。プログラムに支障をきたすのではないかという配慮からであったと思われるが、一人でも多く参加してもらいたいとの教区側の思いから、「是非、参加して下さい」と返事をされた。後日、その教会から二名の参加申し込みがあり、一人は教会長さんの娘さん。もう一人は遅れて

担当者活動部

中島 啓和

参加する未信者の友達であった。開催一日目、開始時間に間に合うように娘を車で連れてこられた教会長さんの姿があった。「もう一人の子は、夜の十時頃になると思います。翌日は朝から部活があるので朝の七時には帰ると思います。夜にまた連れてきますので、どうぞよろしくお願います」と言っていて一日帰られた。その言葉通り、夜の十時頃、「おやすみ行事」をしている最中に学校の制服姿でその子はやってきた。初めて訪れるところでもあり緊張しているようではあったが、友達の姿を見つけると一気に表情が和らいだ。翌朝、彼女は、「来て良かったです」と言っていて、短い時間ではあったが、新たに出来た友達に見送られ、惜しむように帰っていった。

「まなびば」に限らず学生に行事の案内をすると「部活があるので」、「バイトが入っていて」との理由から断られることは決して珍しいことではない。と同時に、その言葉を聞くとその時点でこちら側が諦めてしまっていることも多々あるように思う。道に繋がる仲間と出会う機会を少しでも多く持つてもらいたいと思えば、たとえ短い時間であっても、また、参加出来る時間帯を探してまでも参加してもらおうように促すことは大切なことであると感じた。

立教180年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

立教百八十年
学生生徒修養会 大学の部 開催報告
「感じよう！表すよう！陽気なよう！」

東筋の桜が咲き始めた三月三日、本年も学生生徒修養会 大学の部が「感じよう！表すよう！陽気なよう！」のテーマのもとに開催された。今年には五百十六名が受講し、二百五十八名のスタッフが世話取りと運営にあたり、受講生は共に語り合い、励まし合いながら、教祖の御心に包まれて、ここおちばで一週間を過ごした。

本年の塾体制は受講三回目以上または二回目の四年生が対象の「みのり塾」、二回目対象の「つなぎ塾」、初回者対象の「よふき塾」「まこと塾」「いさみ塾」という五塾構成を採った。

初日、緊張と期待の中、お引き寄せいただいた道の学生同士が各塾で出会い、続いて全ての受講生が集合し開講式を行った。その後、ゲームラリーなどのプログラムを通して、同じ班の学生やカウンセラー、スタッフが交流を深めた。

二日目、塾の特性に合わせた講義を行った。よふき塾、まこと塾、いさみ塾は「お道のすばらしさ」おたすけの喜び、つなぎ塾は「おさづけ」、みのり塾は「おつとめ」が講義のテーマであった。また、二日目と三日目の午後には修練があり、てをどり、鳴物、祭儀式の中か

ら希望し、その習得に励んだ。

三日目、五つのテーマの講義から一つを選び、各分野において活躍されている講師陣のおたすけ話に聞き入った。さらに、「青年会の時間」と「婦人会の時間」では男女が分かれて、それぞれの徳分や役割について学び、ふりかえりの時間を持った。

四日目、午前中みのり塾は別席を運び、月次祭まなびに向けて着付け練習を行った。その他の塾も別席を運び、廻廊ひのきしんを行った。午後からは全塾で翌日のをい、がけに向けて演習を行い、にをい、がけ講話を聞き、仲間と共に励まし合いながら路傍講演の原稿作成に取り組んだ。

五日目、にをい、がけへの不安を抱きつつ、松村委員長より激励の言葉をもらい、御存命の教祖のお伴をさせていただくことを誓い合って、勇気を持ってそれぞれの布教地へと出発した。

つなぎ塾と初回者三塾は奈良、大阪において「この御教えをたくさんの人に伝えたい！」と路傍講演、神名流し、リーフレット配りを仲間と共同につとめ、夕方おちばに帰った。みのり塾はおちばより車で十五分ほどの住宅街に行き、戸別訪問を中心ににをい、がけを行い、正午より受講生とスタッフ一同はおつとめ衣を着用し、学修後も教会につながり、おつとめをはじめ、様々

なご用を担えるよう、ほくとされるよう、月次祭まなびを厳かに一手一つにつとめた。

六日目の午前中、本部長 久保善平先生より講話をいただいた。先生自らの経験より悟られたこと、お道を信仰する素晴らしさや有り難さについてお話をくださり、元初まりの話より、これから成人を進める上での思案の置き所を聞かせていただいた。午後からは感謝大会が行われ、各弁士の信仰への熱い思いに耳を傾けた。みのり塾では学修を終えた後も日頃から身近な地域でにをい、がけに出てもらいたい思いから、前日の戸別訪問地域に再び足を運び、にをい、がけを行った。

最終日、閉講式において表統領 中田善亮先生は「学修はおちばの理によって成り立っていること、信仰にオン、オフは関係なく、常々親神様に感謝し、御礼をさせていただくことで信仰がわかってくる」とお話くださり、「普段から教会につながって、そして本当の親元であるおちばに帰ってくることを促され、一同に修了証を授与くださった。

この度の学修で受講生たちは陽気ぐらしを感じ、そして、陽気ぐらしを表す一週間を過ごした。新たな一里塚に向け、誠の心で、学生と共に育ち、お道の将来を担う人材の育成に努めていきたい。

学生生徒修養会 大学の部

カウンセラー感想文

今回初めて学生生徒修養会大学の部でのご用を頂戴し、まこと塾にてカウンセラーをつとめさせていただきました。

事前研修会では、庶務・進行・カウンセラーなどの役割にとらわれることなく、いかに学生に心を繋ぐかを塾全体で練り合い、まさに「オールまこと塾」と呼べる体制で本期間を迎えられるよう、スタッフ一丸となり心をつくりました。

一ヶ月後の本期間、初めは不安が勝っていました。が、受講生と共に過ごす中で、班の仲間同士が、互いの個性を尊重し、学修を通して学んだことを分かち合い、素直に実践に移す姿に対し、「教祖が喜んでくださった」という確信と喜びを持って一週間を

終えることができました。特に、真剣にリーフレットを配り、大きな声で路傍講演をして、互いを勇ませ合い、信仰の喜びを掴んでくれた大阪難波での光景は、今でも目に焼き付いています。塾長先生が求められた「十年後『あの時の学修があったから今の自分がある』と思える学修」に少しでも近づけたのではないかと思います。

頼りない私に手を貸してくれた相方のカウンセラー、心を包むような温かいサポートをして下さった進行・庶務の方々、毎日深夜まで親身に相談に乗ってくれたアドバイザーのお二人、教祖のひながたを忘れないように絶えずご指導くださった塾長先生・副塾長先生、皆さんへの感謝の気持ちで一杯です。

このご用を通して、実践することで湧き上がる信仰の喜びを改めて感じ、また「にをい、がけ」おたすけの心をもって学生に接

する」とはどういうことか、少し理解できず、気がします。これ以外にも本当に多くを学ばせていただきました。この得難い経験を活かせるよう、まずしっかりと自分の心に治めたいと思います。



学生生徒修養会 大学の部

受講生感想文

私は大学四年生で、来年度から社会人になります。今回の学修でおおびにお引き寄せいただき、講義で聞いたことをきっかけに、毎日神殿でおつとめをさせていただくことがありがたいと感じるようになりました。日々のほこりを払うこと、そしてご守護をいただきやすい人になるために、「てをどり」をすること、徳のある人になり、また人助けのできる人になれるよう、日々たんのうの心で、誠の人を目指したいと思います。

(みのり塾 大学生 男)

に、い、が、けの第一歩を踏み出せました。教祖を心と体で感じられて、改めて心を澄みさせることの大切さを感じました。そして、このお道は絶対だと確信しました。また、おつとめ、のすばらしさを感じ、日々のおつとめから大切にしていきたいです。

(みのり塾 大学生 女)

自分の信仰に自信が持つことができました。今まで「なんで自分は信仰しているんやろう」と考えることが多かったのですが、今回の学修を通して、スッキリした気がします。「親々が僕の代まで信仰を伝えてくださったから、今こうやって結構に過ごすごうできています。んやな、だから信仰は素晴らしいんや、信仰してよかった」と思えるようになりました。そして、素晴らしい仲間にも出会うことができました。神様によってこのおおびにお引き寄せいただき、お互いが共に助け合い、刺激し合いながら良い一週間を過ごすことができました。

(つなぎ塾 大学生 男)

自分の感情を素直に出すこと、お道に対して真っ直ぐに向き合うこと、人と一週間一緒に生活することでこんなに仲を深められるのは、教祖の大きな親心だと感じました。「この教えは本当に間違いない、生涯信仰を続けていきたい」そう確信できました。自分自身がたすけてもらって生かされていることを忘

学生担当者報

れず、神様のご用を通して恩返ししたいと思うことができました。

(つなぎ塾 大学生 女)

親神様のことや、天理教のことを何も知らないまま、この学修にきました。でも、少しですが、天理教のことができた気がします。また、私の中では、最高の仲間に出会えたこと、それが本当に得たものだと思います。感謝の心や笑顔、陽気ぐらしの目標、本当に全てが勉強になり、今までの私と一つ違う自分になりました。

(よふき塾 短大生 女)

普段から天理教に触れているわけではないのですが、この学修で天理教の事を考える時間をいただき、その中で、自分なりに信仰できることがあるということに気づきました。また、カウンセラーさん、塾のスタッフさん、講師の先生方をはじめ、班での活動や日々の生活を思ってくださいって、そのことから天理教の温かさを感じました。これからも班員と

の繋がりを大切にしたいです。

(よふき塾 大学生 女)

大阪へに、い、が、けに行かせてもらい、布教することの難しさや、喜びをみつけることができました。初めての路傍講演は、とても良い経験となり、今回のに、い、が、けを通して得ることができたものは、とても大きいです。一言で表すなら、「挑戦してみることに！」です。

(まこと塾 大学生 男)

一人暮らしを始めて、一人の時間が増え、他人のぬくもりを感じる機会が極端に減ってしまっていたけれど、久々に暖かい空間を感じる事ができました。人と食べるご飯もいつもより美味しいと思うことができました。また、天理教に関わる人にも色々な人がいるんだなと知って、これから自分自身の進む道、分野でのお道のあり方を考えて行きたいと思いました。

(いさみ塾 大学生 女)

大学の部 受講生データ

●保護者の立場別

Table with 4 columns: 男, 女, 合計 and 4 rows: 教会長(後継者), 布教所長(後継者), ようぼく信者, 未信者

●本人の立場

Table with 4 columns: 男, 女, 合計 and 3 rows: ようぼく, 別席運び中, その他

※直属別集計はp6~7に掲載しております。

学生担当者報

立教180年 学生生徒修養会

修了者数 516名

男子 296名 (57%)
女子 220名 (43%)

●学校別/参加回数別

Table with 4 columns: 男, 女, 合計 and 4 rows: 天理大学, その他, 二回目以上, 初参加

●別席者集計

Table with 4 columns: 男, 女, 合計 and 3 rows: 初席, 中席/満席, 合計

立教180年 学生生徒修養会 大学の部 直属別データ

※受講生データはP5に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
132	小南部	3	1	4
133	雨龍	1	0	1
134	愛静	1	0	1
135	紀陽	1	0	1
136	大垣	4	0	4
137	鎮西	1	0	1
138	生駒	2	2	4
139	中背	1	2	3
140	高松	2	0	2
141	五條	3	1	4
142	沼津	0	0	0
143	網干	1	0	1
144	宇仁	0	0	0
145	双名島	1	3	4
146	夕張	0	1	1
147	山陽	2	1	3
148	本荏	0	0	0
149	国名	1	0	1
150	玉島	3	6	9
151	網走	1	0	1
152	松阪	4	1	5
153	越知	2	0	2
154	本理世	6	5	11
155	加古	1	0	1
156	秋津	1	1	2
157	幅下	1	3	4
158	亀岡	1	0	1
159	大原	4	1	5
503	淀	0	1	1
508	琵琶	3	0	3
509	網島	1	0	1
511	上町	1	0	1
514	豊繁	2	0	2
515	名張	0	1	1
519	吉備	1	1	2
527	本明實	1	1	2
539	安東	1	0	1
545	やまとよふき	0	2	2
556	東京	0	1	1
569	神奈川台	1	0	1
	総計	296	220	516

番号	直属	男	女	合計
88	愛豫	0	0	0
89	津輕	0	0	0
90	阿羽	1	0	1
91	伊野	0	0	0
92	磐城平	1	0	1
93	西海	2	3	5
94	新潟	1	0	1
95	中根	0	1	1
96	肥長	1	0	1
97	名古屋	6	3	9
98	奈良	1	1	2
99	西	0	2	2
100	上之郷	0	1	1
101	益津	0	0	0
102	小牧	0	1	1
103	府内	0	0	0
104	東肥	1	2	3
105	都	1	0	1
106	西成	1	2	3
107	南	2	1	3
108	山陰	4	1	5
109	鹿島	1	0	1
110	此花	3	1	4
111	仙臺	2	0	2
112	東海	2	0	2
113	大鳥	1	0	1
114	古市	0	0	0
115	神崎	1	0	1
116	甲府	1	2	3
117	本保	0	0	0
118	本愛	4	0	4
119	本芝	4	0	4
120	山國	0	0	0
121	京城	0	2	2
122	東神田	3	2	5
123	北洋	0	1	1
124	宇佐	2	1	3
125	岡山	0	1	1
126	泉	0	1	1
127	東中央	0	0	0
128	城山	2	0	2
129	静岡	0	0	0
130	白羽	0	1	1
131	伊那	0	1	1

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
44	笠岡	2	4	6
45	西宮	1	1	2
46	明和	1	1	2
47	明城	0	2	2
48	大江	2	5	7
49	旭日	1	2	3
50	池田	3	0	3
51	阪東	1	0	1
52	蒲生	1	1	2
53	日野	1	0	1
54	朝倉	2	2	4
55	佐野原	1	2	3
56	高岡	0	0	0
57	愛知	0	0	0
58	梅谷	0	3	3
59	平安	2	0	2
60	豊岡	3	2	5
61	治道	2	0	2
62	都賀	0	0	0
63	川之江	1	0	1
64	周東	2	0	2
65	南阿	4	3	7
66	香川	3	0	3
67	中紀	0	1	1
68	津	1	0	1
69	秩父	0	3	3
70	中津	0	0	0
71	岐美	2	2	4
72	熊本	1	0	1
73	那美岐	3	1	4
74	中野	1	0	1
75	秦野	4	0	4
76	立野堀	0	3	3
77	中央	0	1	1
78	南紀	2	0	2
79	北陸	0	2	2
80	東濃	0	1	1
81	岡	3	5	8
82	八木	1	0	1
83	洲本	2	3	5
84	錦江	0	1	1
85	繁藤	1	0	1
86	大森町	1	0	1
87	防府	1	1	2

番号	直属	男	女	合計
0	本部	4	5	9
1	郡山	4	3	7
2	兵神	12	3	15
3	山名	6	5	11
4	船場	2	5	7
5	河原町	5	4	9
6	撫養	1	2	3
7	東	0	1	1
8	敷島	12	8	20
9	日本橋	0	3	3
10	高安	6	3	9
11	南海	3	0	3
12	芦津	7	1	8
13	高知	5	6	11
14	北	4	1	5
15	湖東	1	1	2
16	甲賀	4	2	6
17	水口	0	0	0
18	中河	11	9	20
19	名京	1	1	2
20	中和	2	1	3
21	櫻井	3	3	6
22	筑紫	0	0	0
23	越乃國	6	1	7
24	名東	1	3	4
25	麴町	0	0	0
26	日光	1	0	1
27	飾東	1	3	4
28	東本	6	9	15
29	嶽東	1	3	4
30	島ヶ原	0	0	0
31	堺	0	1	1
32	御津	2	2	4
33	城法	6	3	9
34	生野	1	0	1
35	東愛	5	2	7
36	本島	3	3	6
37	牛込	2	0	2
38	深川	1	1	2
39	浅草	0	1	1
40	西陣	1	0	1
41	大縣	2	0	2
42	社	0	1	1
43	神川	1	2	3

立教180年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 直属別データ

※受講生データはP9に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
132	小南部	2	3	5
133	雨龍	0	0	0
134	愛静	0	1	1
135	紀陽	1	1	2
136	大垣	2	0	2
137	鎮西	0	0	0
138	生駒	0	1	1
139	中背	1	1	2
140	高松	0	6	6
141	五條	0	1	1
142	沼津	0	0	0
143	網干	0	0	0
144	宇仁	1	0	1
145	双名島	4	0	4
146	夕張	0	0	0
147	山陽	0	0	0
148	本荏	0	2	2
149	国名	0	0	0
150	玉島	2	0	2
151	網走	0	0	0
152	松阪	1	3	4
153	越知	0	1	1
154	本理世	0	0	0
155	加古	0	0	0
156	秋津	0	0	0
157	幅下	2	0	2
158	亀岡	0	0	0
159	大原	0	1	1
502	尾道	1	0	1
503	淀	2	1	3
506	細川	0	1	1
508	琵琶	1	2	3
510	鐸姫	0	1	1
514	豊繁	2	0	2
515	名張	1	2	3
518	浪華	0	1	1
545	やまとよふき	0	1	1
553	大阪	0	1	1
554	青森縣	1	0	1
	総計	146	202	348

番号	直属	男	女	合計
88	愛豫	0	0	0
89	津輕	3	1	4
90	阿羽	0	0	0
91	伊野	0	0	0
92	磐城平	0	0	0
93	西海	4	3	7
94	新潟	0	0	0
95	中根	0	0	0
96	肥長	0	0	0
97	名古屋	1	0	1
98	奈良	0	0	0
99	西	0	0	0
100	上之郷	1	1	2
101	益津	0	0	0
102	小牧	0	3	3
103	府内	0	1	1
104	東肥	0	2	2
105	都	0	0	0
106	西成	1	0	1
107	南	0	3	3
108	山陰	1	1	2
109	鹿島	1	0	1
110	此花	1	5	6
111	仙臺	1	2	3
112	東海	0	0	0
113	大鳥	0	1	1
114	古市	0	0	0
115	神崎	0	2	2
116	甲府	0	2	2
117	本保	1	0	1
118	本愛	0	1	1
119	本芝	1	4	5
120	山國	1	0	1
121	京城	1	2	3
122	東神田	1	0	1
123	北洋	0	0	0
124	宇佐	0	0	0
125	岡山	2	1	3
126	泉	1	1	2
127	東中央	0	0	0
128	城山	0	1	1
129	静岡	0	0	0
130	白羽	0	0	0
131	伊那	0	0	0

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
44	笠岡	2	4	6
45	西宮	2	3	5
46	明和	0	0	0
47	明城	2	0	2
48	大江	1	2	3
49	旭日	0	2	2
50	池田	3	3	6
51	阪東	0	0	0
52	蒲生	1	1	2
53	日野	0	1	1
54	朝倉	1	1	2
55	佐野原	2	0	2
56	高岡	0	1	1
57	愛知	0	5	5
58	梅谷	1	1	2
59	平安	0	0	0
60	豊岡	1	7	8
61	治道	0	2	2
62	都賀	0	0	0
63	川之江	0	1	1
64	周東	1	0	1
65	南阿	0	2	2
66	香川	2	3	5
67	中紀	0	0	0
68	津	0	0	0
69	秩父	0	0	0
70	中津	3	0	3
71	岐美	2	1	3
72	熊本	0	0	0
73	那美岐	0	0	0
74	中野	2	1	3
75	秦野	0	0	0
76	立野堀	0	0	0
77	中央	0	0	0
78	南紀	0	0	0
79	北陸	2	1	3
80	東濃	0	1	1
81	岡	0	2	2
82	八木	0	0	0
83	洲本	1	3	4
84	錦江	0	0	0
85	繁藤	0	2	2
86	大森町	0	0	0
87	防府	2	0	2

番号	直属	男	女	合計
0	本部	0	2	2
1	郡山	2	5	7
2	兵神	1	7	8
3	山名	0	2	2
4	船場	2	1	3
5	河原町	4	5	9
6	撫養	0	0	0
7	東	0	0	0
8	敷島	2	5	7
9	日本橋	3	0	3
10	高安	2	10	12
11	南海	0	1	1
12	芦津	1	0	1
13	高知	3	1	4
14	北	4	1	5
15	湖東	0	0	0
16	甲賀	1	4	5
17	水口	0	2	2
18	中河	3	5	8
19	名京	1	1	2
20	中和	1	0	1
21	櫻井	3	3	6
22	筑紫	1	1	2
23	越乃國	0	1	1
24	名東	1	0	1
25	麴町	0	0	0
26	日光	1	0	1
27	飾東	4	3	7
28	東本	1	3	4
29	嶽東	6	2	8
30	島ヶ原	2	2	4
31	堺	1	0	1
32	御津	0	0	0
33	城法	2	3	5
34	生野	1	0	1
35	東愛	3	2	5
36	本島	5	3	8
37	牛込	1	2	3
38	深川	0	1	1
39	浅草	1	0	1
40	西陣	2	4	6
41	大縣	2	1	3
42	社	1	1	2
43	神川	1	0	1

Happist 個人購読のご案内

学生層のための月刊誌〈Happist〉は、お道の教えを正確に伝え、教理を求める手掛かりとなるだけでなく、学生会活動・各行事の情報や毎月の景品も充実。学生生活をより充実させる為に〈Happist〉を購読してみませんか。

個人購読とは？

学生担当委員会から学生本人の下宿先などへ、直接〈Happist〉を発送するものです。簡単な手続きで申し込みができる〈Happist〉個人購読がオススメ！

要項

販売期間： 購読開始月から同年度3月号まで。
(年度ごとに更新の手続きが必要になります。2月号発送時に「更新手続き用紙」を同封いたします)

申込方法： 申込用紙に必要事項を記入し、学生担当委員会事務局に直接、又は郵送、FAXにてお申し込みください。料金のお支払い確認後、発送致します。

支払方法： 下記の購読料金を参照の上、学生担当委員会事務局に直接お支払いいただくか、事務局よりお渡しします振込用紙での郵便振込となります。

購読料金

▼ひと月 1冊(100円)+送料80円=180円

4月号～	5月号～	6月号～	7月号～	8月号～	9月号～	10月号～	11月号～	12月号～	1月号～
2,160円	1,980円	1,800円	1,620円	1,440円	1,260円	1,080円	900円	720円	540円

※上記は購読開始月から3月号までの料金です。
※同一お届け先に3冊までまとめて発送できます。(3冊以上は個人購読係までお問い合わせください)

Happist 5月号 予告

[特集]

春の学生おぢばがえり

連載

式典・真柱様お言葉

・教理コーナー
お道の?を一緒に考えよう! 田邊 大治 (此花大教会長)

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 利光 誠治 (伊賀生流里分教会長)

・マンガ
ココロtravel ニシカワヨウコ



個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

直属担当者懇談会のご案内

日々は、学生層育成の上に変わらぬご丹精をいただき、誠にありがとうございます。さて、来る5月例会に先立ち、「直属担当者懇談会」を下記の通り開催します。教務ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 期 日 : 5月25日 (木)
- 時 間 : 13時～15時45分 (12時30分より受付) ※16時より例会
- 会 場 : 第38母屋
- 対 象 : 直属学生担当委員長、他1名 (各直属、計2名)
※委員長欠席の場合は、代理可
- 内 容 : ねりあい等
- 申 込 : 参加申込票を4月25日 (火) までにご提出ください
※FAX可 (0743-62-5780)

青空

十五歳の春、私はおぢばへお引き寄せいただききました。今年で九年目を迎え、改めて振り返ると、本当にさまざまな経験、勉強、お仕込みをいただいたように思います。

学生担当委員会事務局でのひのきしんは、主に行事などで使用する物品の管理者としてのご用をとめさせていただきました。事前準備の時、前任の先輩から「ここは学生には直接喜んでもらえる係ではないけど、学生を一生懸命丹精しているスタッフを勇ませる係やねん」と言われたことがありました。物品一つ準備するのも使う人が手にした時、すぐに使いやすいうに、また気持ちよく使ってもらえるようにと、少し心を配るだけで喜んでくださることに気付きました。裏方としての鉄則を学ばせて頂いたと同時に、裏方の大事さもわかることができました。

五月から教会に戻りますが、表で丹精してくださっている教区の先生、教会長様が気持ちよく丹精できるように、ここで学んだことを少しでも実践していきたいと思えます。

学生生徒修養会部局員 三浦大明

「まなびば」開催会場一覧 《4月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
香川	4月22日13時～23日15時	教務支庁	村田	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

●●●●● 広報・啓蒙物品一覧 ●●●●●

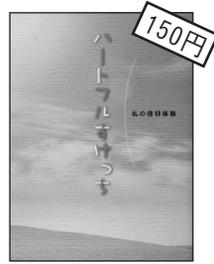
学生担当委員会では様々な広報・啓蒙物品を製作しております。
学生層育成の一助にぜひともご活用ください。

書籍

「Happist」や、「信心事始」、「ハートフルすけっち」などの書籍を販売しています。



Happist



ハートフルすけっち



信心事始



HARP
-確かな理解とその使い方-

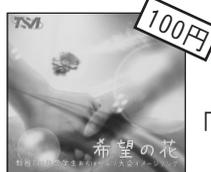
グッズ

学生担当委員会では「Happistタオル」や「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」のイメージソング「希望の花」のCDなどのグッズを販売しています。

Happistタオル
ブラック・ブルー
イエロー・グリーン



300円



「希望の花」CD
100円

パンフレット

「学生生徒修養会」や「春の学生おぢばがえり」をはじめ、高校生の集い「まなびば」、「おせち学生ひのきしん隊」などのチラシや募集要項などの販売・配布を行っています。



学生生徒修養会
高校の部・大学の部



高校生の集い
「まなびば」



春の学生おぢばがえり



TSA
PERFECT
GUIDE



おせち学生ひのきしん隊

DVD

「春の学生おぢばがえり」、「高校生の集い「まなびば」」、「学生生徒修養会 高校の部」、「学生生徒修養会 大学の部」を収録した行事紹介DVDを販売しています。



行事紹介DVD

第54期天理教学生会委員総会開催要項

この度、道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、次代を担うようぼくの姿に近づくために、委員総会を開催させていただきます。活動方針の議決、講話、練り合いなどの時間を通して、道の学生の一手一つを目指します。何卒貴教区・直属の学生リーダーにお声がけいただきますよう、よろしくお願いいたします。

趣 旨 教区・直属学生リーダーがおぢばに帰り集い、それぞれの活動について話し合う。その中で、共に学生活動をしていく仲間の存在を感じ、今回の委員総会で決定する活動方針に心をそろえて一手一つにスタートしていく場とする。また、次代を担うようぼくの姿に近づけるよう、さらに成人の道を歩ませていただくことを決意する。

日 程 5月3日（水）10時集合／5月5日（金）16時解散（予定）

参加対象 各教区・直属学生会委員長及び学生リーダー
（高校生、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生等）

参加定員 140名（各教区・直属3名まで）
尚、定員になり次第締め切りますので、予めご了承ください。
※学生会が結成されていない直属も是非ご参加ください。

参加費 1,500円 ※当日にお持ちください。

宿 舎 本部第2母屋

持 ち 物 参加費、保険証、筆記用具、ハッピー、傘、宿泊に必要なもの

内 容 第54期天理教学生会活動方針の議決、
学生活動について、講話、練り合い、レクリエーション 等

※全日程の参加を原則としますが、やむを得ず遅刻、早退、中抜けする場合は、必ず事前にご相談ください。

※申込書をFAXで提出される場合は、FAX送信後に学生担当委員会事務局までご連絡ください。

※申込書をFAXで提出される場合は、学生担当委員長の印鑑を押した原本を当日お持ちください。